近松會雜誌

第一号

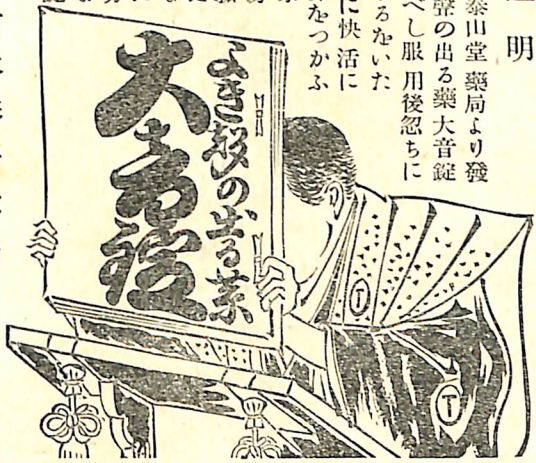
よき聲の出る新藥

本劑は一般こゝの病を治し及日々發聲[illegible]人の常用藥にして能くたんを祛りせきを治す故に美聲を望む人の一日も缺ぐべからざる靈業なり

價　箱入金壹圓、五拾錢、貳拾五錢、袋入金拾錢

實驗證明

此度當市新町通伊藤泰山堂藥局より發賣せられましたよき聲の出る藥大音錠を試みましたが驚くべし服用後忽ちにして効ありて咽喉うるおいたんをきり聲をつかふに快活に發聲し得られ何程聲をつかふとも勞れず而も藥味頗る美にして服み易きは確に我等の實驗したるところなり從來より如此不思議なる聲の藥は絶て見たることなし故に大方の發聲家諸彦に此よき聲の出る藥大音錠を御紹介申上ます



竹本春子太夫
豐澤新左衛門

効能の確實なるは前記實驗證明の如し其他謠曲大家或は琵琶歌、詩吟、俳優、浪花節、常盤津、歌澤、長唄等諸流の師匠又種々なる方面の發聲家より澤山賛辭を寄せられたり（省略）殊に發聲上に多大の關係を有する義太夫界諸彦幸に御愛用の光榮を賜らんことを乞ふ

本舗　大阪市西區新町三　伊藤泰山堂營業所

カ子シヨン印
舶來タイプライター用
複寫用カーボン紙

日本政府登録濟

カ子シヨン印

カ子シヨン印
舶來タイプライター用

一手輸入販賣元
神戸　明輝
（電話　[illegible]

近松會雜誌第壹號目次

●口　繪

近松巢林子像及賛（難波土產所載）木版

近松巢林子墓（攝州川邊郡久々知廣濟寺內）寫眞版

●本會記事　頁

趣意書……一

會則並に決議書……四

會員名簿役員賛助員……八

本會成立の次第……一一

會告……一二

●祝　詞

岩田義玄、竹本攝津大椽、竹本大隅太夫、朝日山四郎右衛門、竹本叶太夫……一三

●論　說

近松會雜誌の發刊に際し聊近松を論じ更に藝林の諸子に及ぶ……緒方博士……一五

近松會雜誌の發刊について……鈴木學士……二〇

●講　筵

忠兵衛梅川冥途の飛脚……青瑠璃漢……二三

●雜　錄

近松と一中節……伊原青々園……三〇

六代目染太夫自傳……岡田翠雨……三〇

近松と俳諧……齋藤溪舟……四〇

近松は日本の太史公……木崎好尙……四六

大家の見たる近松……加藤紫芳……四八

巢林子の遺物について……水谷不倒……五〇

瑠璃の屑……小野棣華……五二

近松の新釋につきて……坪內博士……五五

近松の產地說について……木崎好尙……五九

●古今文苑……六〇

●壓近松平安翁像……穗積以貫●三勝の墓にて……雛窩主人●道頓堀の芝居を……曉晴翁●近松饅頭をよみて……攝津大椽●國性爺……竹本叶太夫●近松信盛……小野利敎●其他川柳狂句

●藝界時報……六二

播重の記念碑●小林長十郎●八道雲右衛門●芝居の芝居●紋十郎の病氣と廣助の全快●錦太夫の入營●竹三郎の東下り●竹本南部太夫の巡業

●會員消息

●廣告

明治四十三年七月二十九日第三種郵便物認可
明治四十三年八月十日發行（毎月一回出利）

近松會雜誌

第弐號

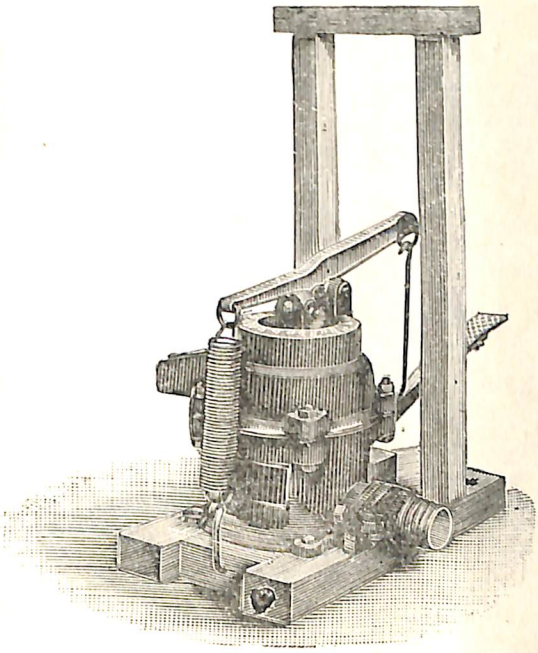
第六　奥合戦　沢口

第十　三味線

十二日　祥一日

日韓
專賣特許 松田式ポンプと其の聲望

假令淨瑠璃に巢林子を知らざる者ありとも
揚水機に松田式ポンプを聯想せざるはなし



幾多の揚水機中嶄新にして奇拔、最輕便にして最經濟なるは我が松田式ポンプなり、構造簡單、運轉輕快、揚水多量、炊事、灌漑、排水、土木、鑛山等適せざる處なく手押、足踏動力掛等御好みに應ず

上圖足踏裝置にして灌漑に適す今や全國の農業界に貢獻しつゝある利益は幾何ぞ（代價表進呈）

大阪市北區中之島四丁目濱三十一番地

一手販賣元　乾商店

電話長西六二七番

近松會雜誌第二號要目

●口　繪

雪線賽贊のろま人形繪（雲錦隨筆所載）（木版）

片岡仁左衛門丈嵐三右衛門丈扮裝夕霧伊左衛門（寫眞版）

●本會記事

會員名簿……（一）

●論　說

近松會雜誌の發刊に際し近松を論じ藝林の諸子に及ぶ（承前）……（五）…緒方　相山

●講　筵

忠兵衛梅川冥途の飛脚（つゞき）……（九）…青瑠璃漢

●傳　記

六代目染太夫自傳（つゞき）……（二四）…竹本叶太夫

●雜　錄

根引の門松について……（三三）…荷葉女史

掛ことばの研究（一）……（三三）…小野利教

巢林子の遺墨……（三七）…因果庵主人

瑠璃の害（つゞき）……（四〇）…ていくわ

●藝　評

空也念佛堂三味線會……（四三）…中村吟翠

獻々評……（四七）…田の字

女義太夫評判記……（四八）…色眼鏡

●古今文苑

松の落葉（一）……（五三）…近松門左衛門

●詩康熙皇常●同太田北山●狂歌眞顏飯盛●狂詩…小笠原古潭

●竹本叶太夫●和歌小野利教其他

●道行風の妹脊筋……（五六）…平賀源内

讀者倶樂部…俳句…川柳…忠臣藏狂句

●藝苑時報

●攝津大掾の風懷●田中翁を悼む●ああ、高木善兵衛氏●越路太夫の一行●其後の紋十郎●公會堂の堀江藝妓淨瑠璃●播重翁建碑について●喜睦會●全國各新聞評

●會員消息

●廣　告……

投書案内、狂歌募集、

普通廣告

明治四十三年七月二十九日第三種郵便物認可　松會雜誌第弐號　明治四十三年八月十日發行

大夫 竹本義太夫 座本 逝松門右衛門

傾城阿波の鳴門

入切れ

第壹回

奥

竹本村太夫
竹本菜太夫

明治四十三年七月二十日第三種郵便物認可
明治四十三年九月十日發行（毎月一回）

近松翁雜誌

第三號

第十

三味線

第六

奥合

近松會雜誌第三號目次

●口　繪

浮瑠璃繪本染摸樣妹脊の門松挿畫（木版）

中村雁次郎丈扮裝の大星由良之助（寫眞版）

●本會記事

會員名簿……（一）

●論　說

近松會雜誌の發刊に際し近松を論じ更に藝林の諸子に及ぶ（承前）……（六）…緒方　相山

近松會雜誌の發刊を祝し併せて所感聊かを述ぶ……（一〇）…松本正之介

●講　筵

忠兵衛梅川冥途の飛脚（つゞき）……（一二）…青瑠璃漢

●傳　記

六代目染太夫自傳（つゞき）……（一九）…竹本叶太夫

●雜　錄

近松研究と演劇……（二三）…井上松園

玉子酒……（二四）…瀨戸閻太郎

女義太夫評判記……（二五）…色眼鏡

朝鮮と義太夫……（三九）…竹本叶太夫

●古今文苑

松の落葉……（四一）…近松門左衛門

和歌　稻のや主人●狂歌　鯛屋貞抑其他　讀者倶樂部●狂歌　菊水生●忠臣藏戲文　小笠原古潭其他……

●藝　評

空也念佛堂三味線會（つゞき）……（四三）…吟翠子

●藝苑時報

故桐竹紋十郎▲大椽と紋十郎▲記念碑の除幕式▲曾呂利の恩給▲故中村玉七▲演藝案內▲新築の劇場▲本誌に對する全國各新聞評

●會員消息

●廣　告

明治四十三年七月二日第三種郵便物認可　近松金雑誌第参號　明治四十三年九月十日発行（毎月一回）

大夫座本義太夫

近松門左衛門

傾城阿波の鳴門

又切れ

第壹　奥　12

竹本　村松文
竹本　菊松文

竹本　義太夫
竹本　義太夫

第二　奥　12

明治四十三年七月二十日第三種郵便物認可
明治四十三年十月十三日發行（毎月一回）

近松会雜誌

第六

奥合

第十

三味線

十二月

第四號

會告

今回京都淨曲會と合併し同會員の方々に爾今本會員として本會の特權を有せらるゝ事と相成り候間此段廣告致候

追て本鄕菅彦氏を本會京都支部長とし元淨瑠璃文庫所載の講義を近松會雜誌に續載し前金拂込殘餘は本會々費に繰入れ候に付此儀も御諒承可被下候

明治四十三年九月一日協定

近松會事務所

元日本淨曲會

近松會雜誌第四號目次

●口　繪

素人天狗狂畫（木版）

日本人形使の始祖白太夫（寫眞版）

●說　話

近松會雜誌の發刊に際し近松を論じ藝林の諸子に及ぶ（承前）……緒方相山（一）

●講　莚

梅川忠兵衛冥途の飛脚（つゞき）……青瑠璃漢（三）

●傳　記

六代目染太夫自傳（七）……竹本叶太夫寄（八）

上村源之丞の事歴（一）……引田源之丞（二）

●松葉籠

巢林子墳墓考證（一）……小野利教（一四）

壽門松について……稻洲棣華（一六）

櫓太鼓の由來……石田一鱗（二〇）

槍の權三重帷子……美田眞滿雄（二〇）

宇和島みやげ（上）……岡田翠雨（二三）

玉子酒（つゞき）……瀨戸閻太郎（二五）

憎れ草（一）……內山醒夢（二八）

●談　話

盛綱首實檢の苦心……井上松園（三〇）

●評判記

女義太夫評判記（五）……色眼鏡（三三）

文樂座の總稽古……めがね（三七）

文樂座駄評……小野稻洲（三八）

堀江座盆替り……中村吟翠（四〇）

堀江座の十月興行……馬脚（四三）

兩座の人形……みどり（四四）

●古今文苑

松の落葉（三）……近松門左衛門（四五）

和歌國性爺合戰の人物を…稻の舍主人▲和歌▲狂詩▲狂歌▲みやび會▲俳句▲讀者の聲▲其他

●時　報

▲畫伯と淨瑠璃▲奈良だより▲幼聲會▲嫩會▲六字會▲松葉家連會▲鼻高會▲此花館の三味線會▲中檢藝妓の淨瑠璃會▲▲水害淨瑠璃會

●會員消息

●廣　告

明治四十三年七月二日第三種郵便物認可　近松會雜誌第四號　明治四十三年十月十三日發行（毎月一回）

大夫座本義太夫

竹本義太夫逝去百回忌

傾城阿波の鳴門

第壹　奥の段　竹本村右衛門　竹本藤右衛門　竹本菊右衛門

第二　奥の段　竹本金右衛門　竹本安右衛門　竹本義太夫

明治四十三年十二月二十日第三種郵便物認可
明治四十三年十一月二十日發行（毎月一回）

近松全集雜誌 第五號

第十

三味線

十二月　日

會　告

本會事業たる近松翁墳墓修築保存並に文庫建設に着手し彌々其の筋の認可を得て左記規程により寄附金を募集す

●募集金處分規程

一寄附金は壹圓以上とす
一寄附金は寄附者の指定せられたる費目に充つ
一寄附金は本會々計監督渡邊庄助監督の下に大阪市東區今橋合名會社增田銀行に預け入るゝこと
一金額拾圓以上の寄附者は氏名を石に刻すること
一金額拾圓以内の寄附者は本會芳名錄に記し文庫に永遠備付くること
一寄附金は募集人に於いて申込書のみを受取り現金は更に渡邊會計監督より徵集す
一寄附者は本會開設の近松文庫、講莚會、演藝會等に無料觀覽を爲すことを得
一寄附者の氏名は本誌上に廣告す
一墳墓玉垣に署名する大小の柱數及金額左の如し

一玉垣大柱　壹　本　金拾五圓　百五十本
一同　小柱　壹　本　金拾　圓　三百八十本

右廣告候也

近松會事務所

近松會雜誌第五號要目

●本會記事

記事　會員名簿（承前）……（一）

●傳　記

六代目染太夫自傳（つゞき）……（三）……竹本叶太夫（寄）

●松葉籠

巢林子墳墓考證（二）……（五）……小野利教

曾根崎心中の研究……（七）……東京　鈴木春浦

字和島みやげ（下）……（二）……岡田翠雨

假名手本忠臣藏について……（二四）……紅の家　おいろ

双蝶々の由來……（一六）……小野稻洲

節權三について……（一八）……小野樣華

●反古しらべ

狂歌（三首）……（一九）……故　栗椅亭木端

●詞の花

漢詩（先代萩、巢林子、四首）……（一九）……橋本海關外三氏

和歌（忠臣藏）……（二〇）……宮脇　義臣（寄）

狂歌（假名手本忠臣藏）……（二一）……みやび會（投）

●時　報

十一月の文樂座……（二二）……小野稻洲

十一月の堀江座……（二四）……同　人

松葉家連盆會（寫眞版入）……（二五）……吟　翠

益田福昇氏追善會（寫眞版入）……（二七）……吟　翠

田中雅子翁追善會……（三〇）……馬　脚

鶴亀會のぞ記……（三一）……ていくわ

堀江座の新作浮瑠璃……（三二）……一　記者

大隅の咽しらべ……（三三）……馬　脚

◎堀江座義大夫會◎花くらべ（寫眞版入二）其他◎瓢々會

◎古浮瑠璃本展覽會

●通信欄

●圖書購入（細川芳之助氏）

●會員消息

●寄贈書目

●廣告及會告

●附　錄

成相山觀世音靈驗記傘松茶店の段　香川蓬州

安宅關勸進帳講義（第一回）　青瑠璃漢

明治四十三年七月二十日第三種郵便物認可　近松會雜誌第五號　明治四十三年十一月二十日發行（毎月一回）

大夫源太
傾城阿波の鳴門

第壹回　竹本義太夫
　　竹本村治郎
　　竹本葉太夫

第二回　竹本摂津大掾
　　竹本摂津大掾
　　竹本摂津大掾

明治四十三年十二月二十日第三種郵便物認可
明治四十六年十二月二十六日發行（毎月一回）

近松会雜誌

第六号

第十

三味線

十日祥日

近松會雜誌第六號目次

●題　詞

七草曾我馬上稽古本表紙（木版）

●口　繪

福原周峯翁（寫眞版）

●談　話

近松を論じ藝苑の諸子に及ぶ（承前）……（一）…緒　方　博　士

●傳　記

六代目染太夫自傳（つゞき）……（四）…竹本叶太夫（寄）

上村源之丞の事歴（二）……（六）　引　田　源　之　丞

●松　葉　箒

巢林子墳墓考證（三）……（七）…小　野　利　教

近松曲稽古日記（一）……（九）…東京…細川鶴聲

鬼もわん〳〵……（一一）…小　野　棣　華

●古　錦　囊

鸚鵡が柳の序……（一三）…故　竹本筑後掾

反古しらべ

近松翁書翰……（一八）

淨瑠璃絶句……（一九）

同　語呂合……（二〇）…小野稻洲（寄）

●詞の花

詩…橋本海關…歌…岩田宗春

●質　疑

三題

●地方通信

岡山だより……（二二）…三　三　化　生

松の雫……（二三）…御影…電々軒

●時　報

○仁丹別莊の催○御前淨瑠璃○上村源之丞一座○越路の雁信○京都の劇界○神戸の驚集會○姫路の溫習會○遊廓新年のお座附

●會員消息

●會告及廣告

●附　錄

成相肇驗記（悪婆お源内の段）　香　川　蓬　洲

安宅關勸進帳講義（第二回）　青　瑠　璃　漢

明治四十三年七月二十日第三種郵便物認可　近松會雜誌第六號　明治四十三年十二月二十日發行（毎月一回）

大夫盛衰逆櫓閑問

傾城阿波の鳴門

第壹幕

第二幕

竹本村太夫
竹本義太夫
竹本摂津大掾
竹本摂津掾
竹本摂津大掾
竹本摂津掾
竹本摂津大掾